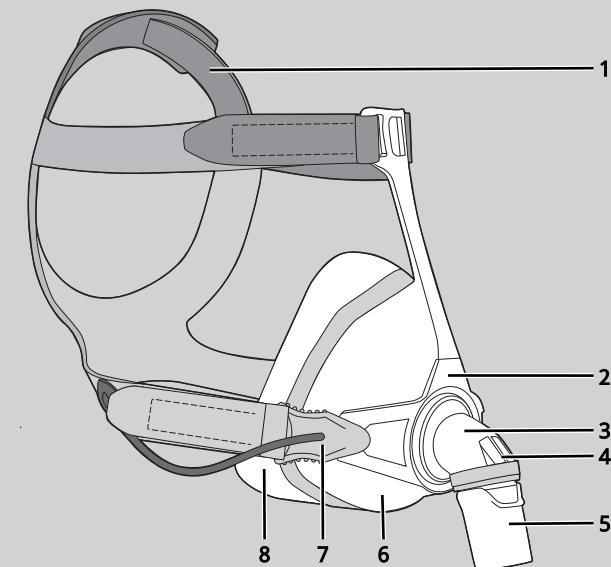


WM 68293f 10/2023 JA



CE 0197



Manufacturer
Löwenstein Medical
Technology GmbH + Co.KG
Kronsaalweg 40
22525 Hamburg, Germany
T: +49 40 54702-0
F: +49 40 54702-461
www.loewensteinmedical.com

CARA

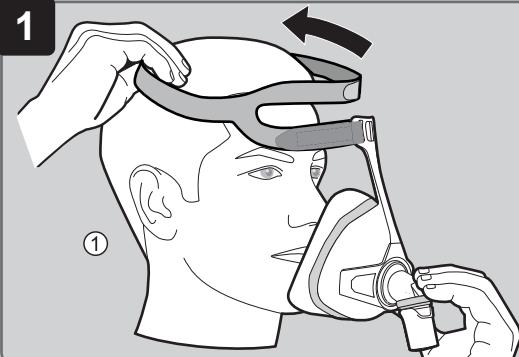
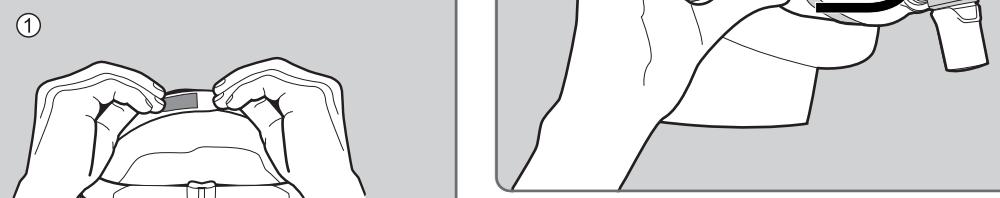
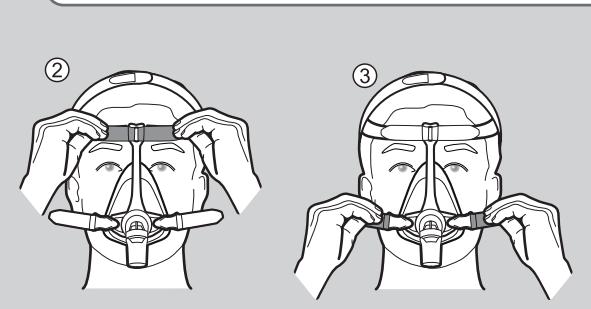
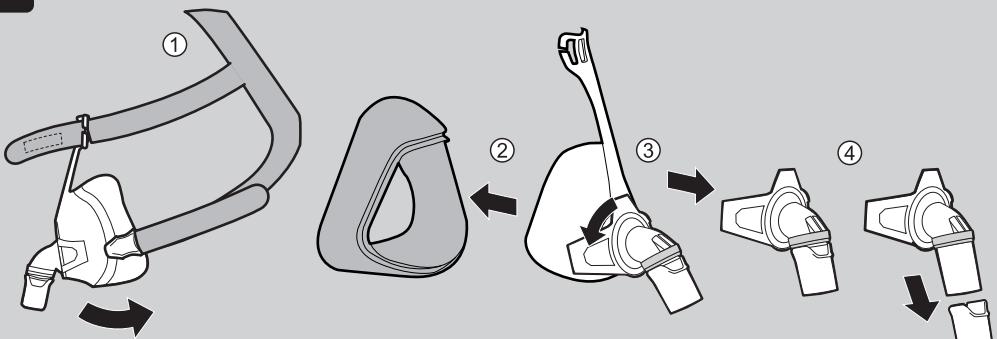
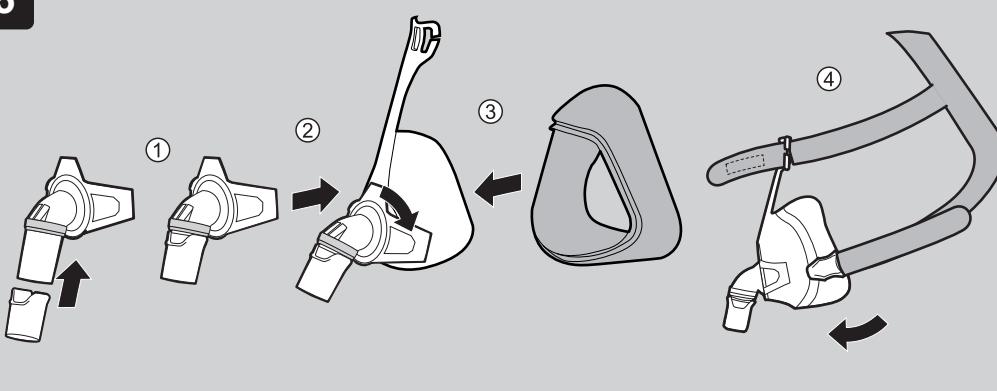
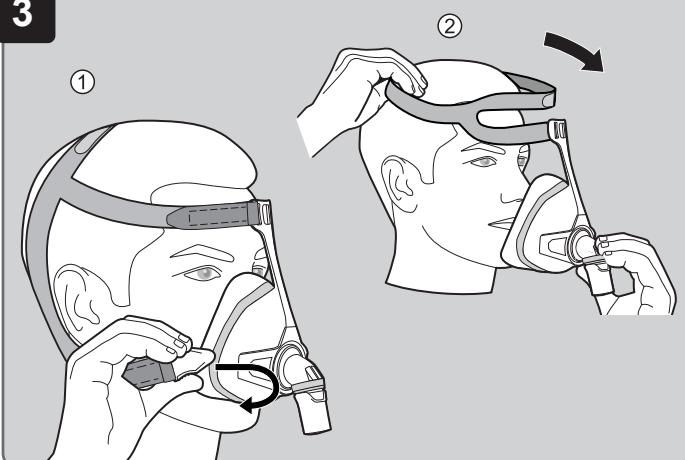
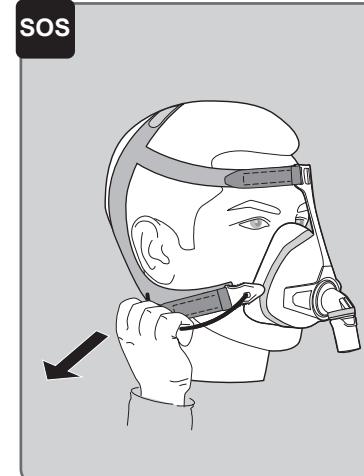
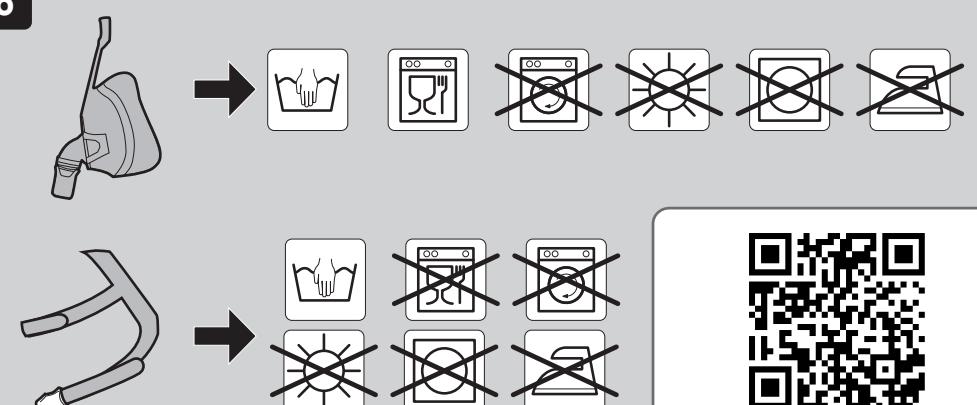
Full Face Mask



WM 68293f

LÖWENSTEIN
medical

LÖWENSTEIN
medical

1**2****2****4****5****3****SOS****6**

CARA movie - scan QR code

EU圏内：ユーザー・患者は、本製品と関連して発生したすべての重大な事故について、メーカーおよび管轄官庁に通知する義務を負います。

1 使用方法

マスクの使用方法については、以下の手順が図示されています：

- 1 マスクの着用
- 2 マスクの調節
- 3 マスクの取り外し

i 目の不自由な方へ

この取扱説明書は、メーカーのインターネットページより電子版でもご利用いただけます。

2 はじめに

2.1 用途

マスクCARA フルフェイスは睡眠時無呼吸の治療、および換気不全のある患者の非侵襲的・非延命の換気を行うために使用するものです。このマスクは、患者と治療装置間の連結具として機能します。

2.2 禁忌

体重が30 kg未満の患者には、このマスクを使用しないでください。

以下の状況ではマスクを使用しないでください：緊急挿管が必要な場合、意識不明、急性嘔吐。

以下の状況では細心の注意を払ってマスクを使用してください：顔面皮膚の圧迫痕および急性損傷、顔面の皮膚アレルギー、顔や鼻咽頭の変形、顔面の激痛、咳反射が制限されているか咳反射がない、閉所恐怖症；急性の吐き気。

これらの状況のいずれかに該当するかどうか定かでない場合は、メディカルスタッフにご相談ください。装置の取扱説明書に記載されている禁忌事項守ってください。

2.3 副作用

マスクを使用すると以下の副作用が生じる可能性があります：鼻づまり、鼻の乾燥、朝の口内乾燥、副鼻腔の圧迫感、結膜の炎症、紅斑、顔の圧迫痕、呼吸中の耳障りな音。

これらの副作用が発生した場合は、メディカルスタッフにご相談ください。

2.4 医学的効用

治療装置の治療成果を患者に転送する

3 安全にお使いいただくために

マスク部品の損傷や消耗によって、負傷する危険性があります！

- ⇒ 使用前やクリーニング後は、必ず目視点検を行います。
- ⇒ 耐用時間に注意してください（技術仕様の章を参照）。
- ⇒ 要に応じてマスクの部品を交換してください。

酸素の使用による負傷の危険性があります！

酸素が衣服やベッドリネン、髪の毛に蓄積することがあります。保護具を着用せずに酸素を投与すると、火災を招くおそれがあります。

- ⇒ 酸素安全弁を使用してください。
- ⇒ 酸素投与システムの取扱説明書に記載されている事項を守ってください。
- ⇒ 装置は酸素源との間に1 m以上の距離をおいて設置してください。
- ⇒ タバコは吸わないでください。
- ⇒ 裸火に近づけないでください。
- ⇒ 部屋を十分に換気してください。
- ⇒ マスクにオイルやグリースが付着しないようにしてください。

患者への供給不足による負傷の危険性があります！

- ⇒ 装置の低圧/リークアラームを有効にしてください。
- ⇒ 適切なマスクサイズを使用して、しっかりと装着されていることを点検してください。
- ⇒ 自発呼吸の能力が限られている患者は、監視してください。

CO₂を再吸入することにより、負傷の危険性があります！

- ⇒ マスクは治療中にのみ使用してください。
- ⇒ マスクは、必ず指定の治療圧範囲で使用してください。
- ⇒ マスクを自分で外すことのできない患者は、専門看護師が監督する必要があります。
- ⇒ 窒息防止弁の開口部が塞がっていないか、ご使用前にその都度点検してください。
- ⇒ 呼気回路を塞がないでください。

麻酔ガスまたは薬剤の漏れによる負傷の危険性があります！

- ⇒ 麻酔中はマスクを使用しないでください。
- ⇒ 薬剤の噴霧にはマスクを使用しないでください。

不十分なクリーニングにより負傷する危険性があります！

- ⇒ 最初に使用する前にマスク部品をクリーニングしてください（クリーニングおよび衛生処理についての章を参照）。
- ⇒ マスクを定期的にクリーニングしてください。
- ⇒ クリーニング剤を選択する際はアレルギーの可能性に注意してください。
- ⇒ 臨床環境で複数の患者に使用する場合：ドキュメント衛生処理に関する注意事項に従ってください（「衛生処理について」の章を参照）。
- ⇒ 免疫系が弱まった患者や特殊な疾病経歴がある患者の場合は、メディカルスタッフと相談の上でマスク部品を毎日消毒してください。

